

現代ライフ学部 経営マネジメント学科

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各学科・コースは、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー、以下 CP）に基づき、それぞれの特色を活かした教育方法による授業を行っています。さらに、資格取得科目の充実など、教育方法に工夫を重ねながら、教育内容の向上に取り組んでいます。また、大学全体として、全学部生が共通して履修する必修科目、「フレッシュセミナー」「アドバンスセミナー」においては、少人数教育を実践しています。セミナー担当教員は、各学部・学科・コースの CP に基づく学修指導の他、学生生活全般にわたる指導を行っています。これにより学生は、社会人として求められる常識や教養等の汎用的能力と、各自の専攻分野や関心領域に関わる幅広い知識をバランス良く身につけることができます。この「セミナー」は、キャリア教育の一環として、学生の様々な相談にも応じています。

【教育方法】

学生が社会人となったときに必要となる幅広い教養や知識、人との関わりの中で求められるマナーやコミュニケーション能力を身につけるための指導を、「フレッシュセミナー」「アドバンスセミナー」において 4 年間を通じて継続的に行っています。また、経営学関連科目ならびに各コースの専門分野に関する科目を配置し、様々な分野で活躍できる人材の育成を目指します。更に、資格取得や公務員試験対策のための講座では、必要な知識が段階的に習得できるよう、十分な時間をかけて指導の充実を図っています。大半の学生が就職を希望する中で、厳しい就職環境を考慮し、1 年入学時から就職支援の科目を設け早期に就職に備えた指導を行なっています。

【教育の特色ある工夫】

経営マネジメントコース

- ・ビジネスにおける様々な専門分野を始めとしたカリキュラムを設置し、実社会で活躍できる人材の育成を目標としています。
- ・その為にまず外国語・コンピュータ及びコミュニケーション能力等の基礎を学ぶと共に、専門分野の知識・理解を深めるために経営学関連の科目や、会計学・経済学など多くの隣接領域科目を設置しています。
- ・更には、キャリア科目の配置、実習・インターンシップ等の機会を設け実践的な能力と倫理観を養うことを目指しています。
- ・平成 29 年度より、本学は診療情報管理士認定指定校となり同受験資格を得るためのカリキュラムを

設置しています。

- ・経営マネジメント研究を新設し専門科目の充実化を図っています。

トレーナー・スポーツ経営コース

- ・スポーツ業界で幅広く活躍できる人材の養成を目指します。
- ・様々な対象や目的に対し、安全且つ効果的な運動指導ができるよう、1年次では「運動器の解剖と機能」「スポーツ生理学Ⅰ」「スポーツ医学入門」などといった基礎科目を、2年次以降では「トレーニング指導演習」や「予防とコンディショニングⅠ」「救急処置」などスポーツ現場で必要とされる専門技術に関する科目を設置しています。
- ・スポーツビジネス業界にも対応できるよう、「スポーツビジネス学」「スポーツ社会学」「スポーツ政策論」「施設管理論」などの科目が多く設置されています。
- ・更に実践力を養うことを目的とし「アスレティックトレーナー現場実習」や「インターンシップⅠ・Ⅱ」などを実施しているほか、国際力を高めることを目的とした「アスレティックトレーナー海外研修」もアメリカで実施しています。
- ・4年次での卒業論文に向け、研究の基礎を学ぶことを目的とし、3年次で「スポーツ医科学研究Ⅰ・Ⅱ」の科目を配置しています。
- ・コースが推奨するスポーツ・健康関連資格の取得を目的とし、試験対策を行っています。
- ・コミュニケーション能力、社会性、倫理観などを育むことを目的とし、地域貢献活動や学内におけるリコンディショニングルームの運営を積極的に展開しています。

情報システムコース

- ・情報システム分野における基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身につけた人材の育成を目指します。
- ・国家試験としての「ITパスポート試験」および「基本情報技術者試験」合格レベルの実力を身につけることを目標として、コンピュータ関連のハードウェア、ソフトウェア、通信システム、システムデザインに関して基礎から教えるとともに、各種演習（コンピュータ、プログラム、ソフトウェア、情報システム）を通じて実践力を養っています。
- ・基本情報技術者試験対策に関する科目では、就職活動の際、又は就職後でも有用な情報技術者資格が取得できるよう受験指導を行っています。
- ・卒業論文では、4年次生を担当教員の研究室に配属させ、研究方法及び論文作成・研究発表の指導を行っています。